



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東 名 福

上場会社名 株式会社ブリヂストン

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 CEO 兼 取締役会長 (氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長 (氏名) 中村 賢史

TEL 03-3563-6985

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,606,056	17.1	318,928	56.1	310,161	57.6	195,858	69.0
24年12月期第3四半期	2,226,321	△0.4	204,274	42.5	196,784	51.5	115,871	41.4

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 347,065百万円 (146.5%) 24年12月期第3四半期 140,782百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	250.19	249.91
24年12月期第3四半期	148.05	147.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,331,356	1,729,391	50.3
24年12月期	3,039,798	1,417,347	45.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 1,676,179百万円 24年12月期 1,373,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年12月期	—	27.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,590,000	18.1	400,000	39.9	381,000	33.7	246,000	43.4	314.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2及び第10条の5に該当するものとなります。詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	813,102,321 株	24年12月期	813,102,321 株
25年12月期3Q	30,161,824 株	24年12月期	30,440,507 株
25年12月期3Q	782,829,415 株	24年12月期3Q	782,661,718 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績全般

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	26,060	22,263	+3,797	+17
営業利益	3,189	2,042	+1,146	+56
経常利益	3,101	1,967	+1,133	+58
四半期純利益	1,958	1,158	+799	+69

当第3四半期連結累計期間(2013年1月1日から2013年9月30日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は円高の是正が定着する中、国内においては、景気は持ち直しの動きが見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では回復傾向が見られますが、欧州では下げ止まりの兆しは見られるものの依然として厳しい状況が続きました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに断トツ」の達成に向け、市場の需要動向や競合の動向を「先読み」し、技術優位性の強化やイノベーションの促進を通して、グローバルで高い競争力を持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、供給能力の増強、生産性の向上、経営資源の効率的活用、そして環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は26,060億円(前年同期比17%増)となり、営業利益は3,189億円(前年同期比56%増)、経常利益は3,101億円(前年同期比58%増)、四半期純利益は1,958億円(前年同期比69%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	22,116 億円	18,603 億円	+3,513 億円	+19 %
	営業利益	2,902	1,854	+1,047	+56
多角化部門	売上高	4,055	3,789	+266	+7
	営業利益	286	187	+98	+52
連結 合計	売上高	26,060	22,263	+3,797	+17
	営業利益	3,189	2,042	+1,146	+56

タイヤ部門では、グローバルにおいて魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を上回り堅調に推移しましたが、新車用が減少した影響により前年同期並みに推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を上回り堅調に推移しました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を下回りましたが、トラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が増加した影響により前年同期を上回り好調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回り、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を著しく上回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は、前年同期を上回り堅調に推移しました。

この結果、売上高は22,116億円(前年同期比19%増)となり、営業利益は2,902億円(前年同期比56%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は4,055億円(前年同期比7%増)となり、営業利益は国内事業における利益増加の影響により286億円(前年同期比52%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、現金及び預金が186億円減少したものの、商品及び製品が420億円、有形固定資産が1,135億円、投資有価証券が749億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,915億円増加し、33,313億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、支払手形及び買掛金が145億円、短期借入金が116億円、それぞれ増加したものの、未払金が503億円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ204億円減少し、16,019億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより336億円減少したものの、四半期純利益の計上1,958億円、その他有価証券評価差額金が561億円、為替換算調整勘定が829億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3,120億円増加し、17,293億円となりました。その結果、自己資本比率は50.3%となり、前連結会計年度末に比べ5.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(2013年8月9日)の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

I A S 第19号「従業員給付」(2011年6月16日改訂)が、2013年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、一部の在外会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異、過去勤務費用及び利息費用他の認識方法並びに表示方法の変更等を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

国内会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2013年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,162	207,481
受取手形及び売掛金	444,669	479,493
有価証券	124,010	126,510
商品及び製品	321,012	363,108
仕掛品	34,524	39,897
原材料及び貯蔵品	165,188	160,717
その他	168,520	186,988
貸倒引当金	△8,074	△8,596
流動資産合計	1,476,013	1,555,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	352,194	384,000
機械装置及び運搬具（純額）	376,232	396,735
その他（純額）	390,509	451,725
有形固定資産合計	1,118,936	1,232,460
無形固定資産	34,118	40,837
投資その他の資産		
投資有価証券	228,214	303,179
その他	187,583	204,751
貸倒引当金	△5,067	△5,474
投資その他の資産合計	410,730	502,456
固定資産合計	1,563,785	1,775,754
資産合計	3,039,798	3,331,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,568	183,135
短期借入金	182,821	194,468
コマーシャル・ペーパー	40,435	—
1年内償還予定の社債	60,972	68,050
リース債務	864	960
未払法人税等	55,827	57,831
未払金	149,543	99,149
その他	231,072	269,184
流動負債合計	890,105	872,781
固定負債		
社債	63,121	50,000
長期借入金	262,330	246,862
リース債務	9,546	10,563
退職給付引当金	302,794	295,007
その他	94,552	126,749
固定負債合計	732,345	729,183
負債合計	1,622,450	1,601,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,630	122,842
利益剰余金	1,428,747	1,590,944
自己株式	△57,247	△56,729
株主資本合計	1,620,484	1,783,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,439	189,562
繰延ヘッジ損益	△948	△310
為替換算調整勘定	△246,190	△163,204
在外会社の退職給付債務等調整額	△133,763	△133,280
その他の包括利益累計額合計	△247,462	△107,232
新株予約権	1,099	1,663
少数株主持分	43,226	51,548
純資産合計	1,417,347	1,729,391
負債純資産合計	3,039,798	3,331,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)
売上高	2,226,321	2,606,056
売上原価	1,479,100	1,662,489
売上総利益	747,220	943,567
販売費及び一般管理費		
販売運賃	92,964	110,237
広告宣伝費及び販売促進費	63,445	79,041
給料手当及び賞与	143,641	166,967
退職給付費用	11,944	14,366
減価償却費	17,693	20,432
研究開発費	61,857	65,297
その他	151,400	168,295
販売費及び一般管理費合計	542,945	624,639
営業利益	204,274	318,928
営業外収益		
受取利息	2,510	3,870
受取配当金	4,071	5,601
雑収入	12,435	13,642
営業外収益合計	19,017	23,114
営業外費用		
支払利息	12,862	11,515
為替差損	2,952	5,174
雑損失	10,691	15,190
営業外費用合計	26,507	31,880
経常利益	196,784	310,161
特別利益		
固定資産売却益	—	4,360
特別利益合計	—	4,360
特別損失		
国内生産体制再編費用	—	5,226
欧州生産体制再編費用	—	4,655
減損損失	12,505	—
事業撤退損	2,903	—
特別損失合計	15,408	9,881
税金等調整前四半期純利益	181,376	304,640
法人税等	59,639	99,702
少数株主損益調整前四半期純利益	121,737	204,938
少数株主利益	5,865	9,080
四半期純利益	115,871	195,858

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121,737	204,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,101	56,118
繰延ヘッジ損益	199	386
為替換算調整勘定	936	85,094
在外会社の退職給付債務等調整額	5,320	483
持分法適用会社に対する持分相当額	486	43
その他の包括利益合計	19,045	142,126
四半期包括利益	140,782	347,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,002	335,909
少数株主に係る四半期包括利益	5,780	11,155

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)

(単位: 百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,857,931	368,389	2,226,321	—	2,226,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,373	10,532	12,905	△12,905	—
計	1,860,305	378,921	2,239,226	△12,905	2,226,321
セグメント利益(営業利益)	185,471	18,787	204,259	15	204,274

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)

(単位: 百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	2,209,297	396,759	2,606,056	—	2,606,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,365	8,774	11,140	△11,140	—
計	2,211,663	405,533	2,617,197	△11,140	2,606,056
セグメント利益(営業利益)	290,238	28,603	318,841	86	318,928

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。